

第1次中期計画

[令和3年度～令和7年度]

「第1次中期計画」策定に当たって

公益社団法人 藤枝市シルバー人材センター

理事長 桜井 幹夫

第2次中長期計画（平成23年度～平成32年度）は、国の行政刷新会議の「事業仕分け」において、補助金の削減に加え、民業圧迫としてシルバー人材センターのあり方を指摘される中、さらに公益法人制度改革関連3法の施行に伴い、公益社団法人への移行を進めている時期に策定されたもので、当時は、会員数の増加は見られるものの、景気低迷の中で、民間企業からは発注の停止や縮小、公共機関では指定管理者制度の導入等による事業の見直し、また一般家庭からは個人消費の冷え込みによる発注の減少等、厳しい受注状況が予想され、就業機会の確保が最大の課題となっていました。

しかしながら現在では、景気回復や少子高齢化の進行により労働力不足が顕著となり、国の「働き方改革」の推進に沿って高齢者の就業促進が図られ、現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保への貢献が求められ、シルバー人材センターに対する期待が一層高まってきました。

こうした中、今回発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済情勢は一変しました。

今回の第1次中期計画（令和3年度～令和7年度）は、こうした状況の変化の中で、今後の社会経済情勢の変化をできる限り読み取り対応するために、5カ年の中期計画として策定しました。

今後は、この計画を指針として、様々な課題解決のための各種施策を着実に推進し、センターのさらなる発展に努めてまいりますので、皆様方の一層のご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和3年3月吉日

目 次

第1章 基本方針

1 計画策定の趣旨	1
2 基本理念	2
3 計画の期間	2
4 事業計画の体系	3

第2章 センターの現状と課題

1 会 員	4
2 就 業	8
3 組 織	12
4 経営状況	15

第3章 重点目標と方向性

1 会員数の拡大と育成	19
2 就業機会の拡大と開拓	21
3 組織の充実	23
4 経営体質の強化	24

参考資料

会員アンケート調査結果.....	25
------------------	----

第1章 基本方針

1 計画策定の趣旨

藤枝市シルバー人材センターは、昭和58年12月に「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、任意団体として設立され、翌年の昭和59年6月に法人設立、その後平成21年4月に岡部町シルバー人材センターと統合し、平成24年4月には公益社団法人へ移行し、現在に至っています。

令和元年度末において、会員数は886人で、ピーク時の平成21年度1,175人から24.6%の減となり、減少傾向が続いています。また、契約金額はシルバー派遣事業を含めて4億8百万円弱で、ピーク時の平成16年度5億6百万円余から19.4%の減少で、ここ数年4億円前後で推移しています。

公益社団法人として初めて策定した今回の第1次中期計画（令和3年度～令和7年度）は、少子高齢社会の急速な進展により、2025年には国民の4人に1人が75歳以上という超高齢社会に突入する中で、今後の社会経済情勢の変化を、できる限り認知しながら地域社会の期待に応え、引き続きセンターの持続発展を目指そうとするものです。

なお、計画の策定にあたり、会員の意向を反映した事業運営を行うために、全会員を対象としたアンケート調査を実施し、会員各自が、シルバー人材センターをどのように捉え、何を望んでいるのかを調査しました。

2 基本理念

シルバー人材センターは、制度発足以来、定年等で職場を離れた高齢者が、社会の一員として「福祉の受け手から社会の担い手へ」を実践することを目指して、地域に密着した事業を展開してきました。

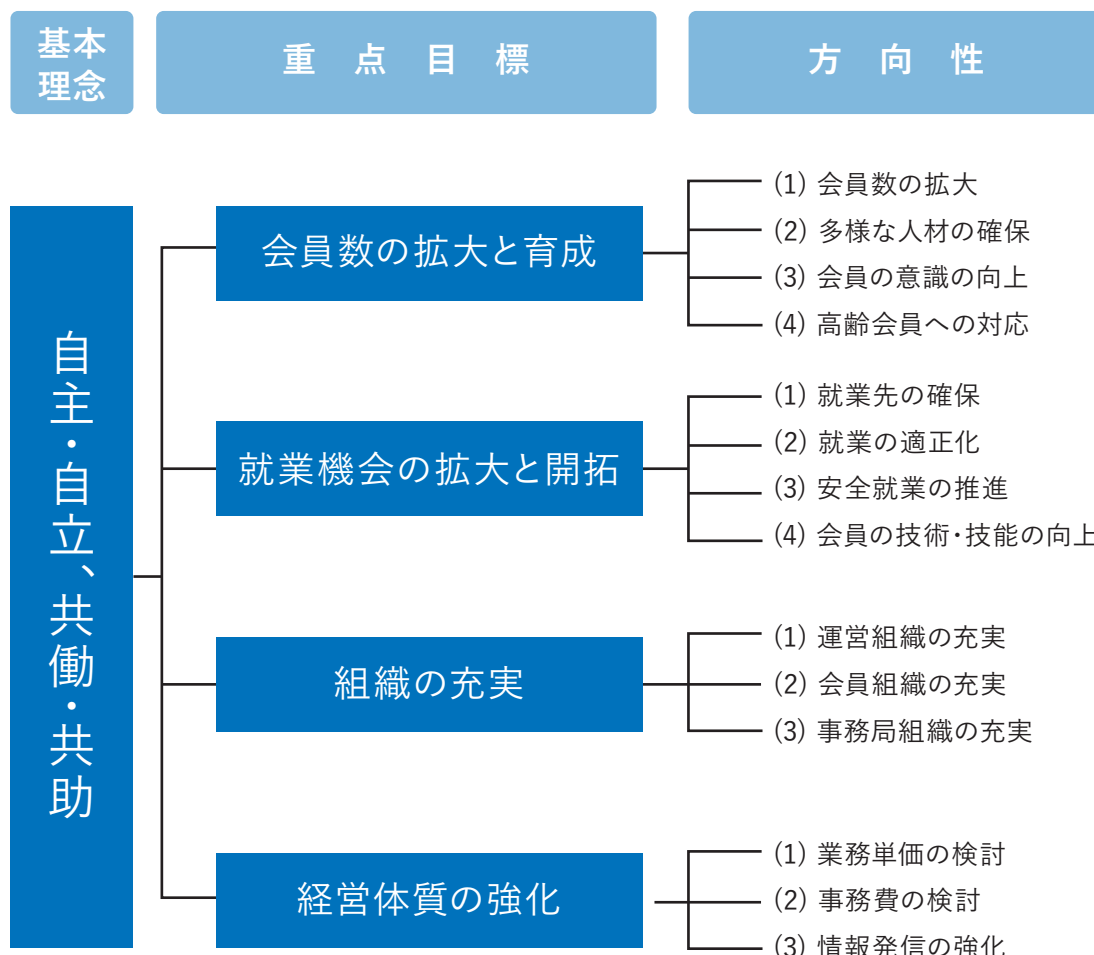
後期高齢者が急増する一方で、若い世代が減少し、少子高齢化がさらに加速していく中で、我が国の活力を維持していくためには、高齢者が社会の支え手として活躍できる環境を整備していくことが、ますます重要となっています。

当センターは、共に働く高齢者の拠点として、「自主・自立、共働・共助」という全国のシルバー人材センター共通の理念のもと、長年培ってきた知識・経験・技能を活かし、働く事を通じて社会に参加し、活力ある地域づくりに貢献していきます。

3 計画の期間

本計画の期間は、今後の社会経済情勢の変化などを考慮し、令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）までの5年間としました。

4 事業計画の体系



第2章 センターの現状と課題

1 会 員

〔現 状〕

(1) 会員数

会員数の年度推移（各年度末日現在）

（単位：人、％）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
会 員 数	978	929	882	894	886
うち、男性	634	615	579	582	567
うち、女性	344	314	303	312	319
対前年度増減数	△23	△49	△47	12	△8
対前年度増減率	△2.3	△5.0	△5.1	1.4	△0.9
男女構成比	65 : 35	66 : 34	66 : 34	65 : 35	64 : 36

会員数については、平成26年度までは1,000人を超えていましたが、平成27年度以降は1,000人を割ったまま、現在に至っています。

(2) 年齢階層別状況

令和元年度の年齢階層別状況（令和2年3月31日現在）

（単位：人、％）

区 分	男 性	女 性	計	構 成 比
60 歳～64 歳	9	5	14	1.6
65 歳～69 歳	92	58	150	16.9
70 歳～74 歳	203	126	329	37.1
75 歳以上	263	130	393	44.4
計	567	319	886	100.0

平成27年度の年齢階層別状況（平成28年3月31日現在）

（単位：人、％）

区 分	男 性	女 性	計	構 成 比
60 歳～64 歳	27	20	47	4.8
65 歳～69 歳	164	110	274	28.0
70 歳～74 歳	223	111	334	34.2
75 歳以上	220	103	323	33.0
計	634	344	978	100.0

平成27年度と令和元年度の年齢階層別では、60歳から64歳の年齢階層が占める割合は4.8％から1.6％に、65歳から69歳の年齢階層が占める割合は28.0％から16.9％に、それぞれ低下しています。逆に、70歳以上の年齢階層が占める割合は上昇し、特に75歳以上の年齢階層が占める割合が伸びており、会員の高齢化が進んでいます。

(3) 会員の入会動機

令和2年2月実施の会員アンケート調査結果(複数回答可)

(単位:人、%)

区 分	生きがい づくり	仲 間 づくり	時 間 的 余 裕	健康維持 ・ 増 進	社会貢献	経 済 的 理 由	そ の 他	計
人 数	260	139	283	334	140	307	20	1,483
割 合	17.5	9.4	19.1	22.5	9.4	20.7	1.4	100.0

入会の動機については、「健康維持・増進」が22.5%で最も多く、次いで「経済的理由」20.7%、「時間的余裕」19.1%、「生きがいづくり」17.5%となっています。



〔課題〕

（１）会員数の拡大

定年制の延長などで企業の雇用が増加している事や、様々な価値観を持つ高齢者の増加により、シルバー人材センターが地域で唯一の「高齢者の生きがい就労」の場ではなくなっていることから、特に女性やホワイトカラーを対象とした、積極的な入会促進策が求められています。

（２）高齢会員への対応

70歳以上の会員の割合が80%を超え、75歳以上の会員の割合が約45%になっていることから、高齢会員向けの就業開拓や、従来の就業形態の見直し等の配慮が求められています。

（３）多様な人材の確保

発注者のニーズが多様化し、専門的な技術が求められるケースもあることから、これに対応できる体制が求められています。

（４）会員の意識の向上

スーパーやホームセンター等、お客様に直接接する職場に就業する会員も増えていることから、接遇等にも適切に対応できるよう、会員の意識の向上が求められています。

2 就 業

〔現 状〕

(1) 就業人員

就業人員の年度推移

区 分	就業実人員(人)	就業延人員(人日)	実人員当たり 月平均就業日数(日)
	上段:請負・委任 下段:派遣	上段:請負・委任 下段:派遣	上段:請負・委任 下段:派遣
平成27年度	821 32	96,629 2,678	9.8 7.0
平成28年度	795 30	95,989 3,720	10.1 10.3
平成29年度	762 31	92,703 3,689	10.1 9.9
平成30年度	758 55	88,815 5,988	9.8 9.1
令和元年度	721 81	82,931 10,457	9.6 10.8

就業人員数は、会員数の減少に伴い低下していますが、実人員当たりの月平均の就業日数は、ほぼ10日前後となっています。

(2) 公共・民間別受注状況（請負・委任）

受注件数の年度推移（上段：件数、下段：割合）

（単位：件、％）

区 分	公 共 事 業	民 間 企 業	一 般 家 庭	計
平成27年度	173 (2.3)	2,793 (37.6)	4,470 (60.1)	7,436 (100.0)
平成28年度	185 (2.5)	2,743 (36.5)	4,575 (61.0)	7,503 (100.0)
平成29年度	183 (2.5)	2,603 (35.8)	4,479 (61.7)	7,265 (100.0)
平成30年度	203 (2.9)	2,564 (36.3)	4,290 (60.8)	7,057 (100.0)
令和元年度	173 (2.7)	2,368 (36.8)	3,892 (60.5)	6,433 (100.0)

契約金額の年度推移（上段：金額、下段：割合）

（単位：千円、％）

区 分	公 共 事 業	民 間 企 業	一 般 家 庭	計
平成27年度	65,186 (16.2)	251,946 (62.8)	84,326 (21.0)	401,458 (100.0)
平成28年度	69,754 (17.5)	245,910 (61.5)	84,070 (21.0)	399,734 (100.0)
平成29年度	66,645 (16.7)	249,434 (62.6)	82,711 (20.7)	398,790 (100.0)
平成30年度	70,099 (18.6)	230,101 (60.9)	77,512 (20.5)	377,712 (100.0)
令和元年度	65,388 (18.0)	222,414 (61.1)	75,887 (20.9)	363,689 (100.0)

一般家庭の受注状況の割合には大きな変化はありませんが、公共事業では増加、民間企業では減少の傾向があります。

(3) 職群別契約金額（請負・委任）

契約金額の年度推移

（単位：千円、％）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
技 術 群	1,640 (0.4)	150 (0.1)	157 (0.1)	205 (0.1)	83 (0.0)
技 能 群	57,744 (14.4)	56,062 (14.0)	55,333 (13.9)	48,746 (12.9)	41,722 (11.5)
事 務 群	3,380 (0.8)	4,052 (1.0)	4,581 (1.1)	4,662 (1.2)	4,788 (1.3)
管 理 群	73,414 (18.3)	73,184 (18.3)	72,265 (18.1)	76,836 (20.4)	84,433 (23.2)
折衝外交群	1,631 (0.4)	938 (0.2)	919 (0.2)	873 (0.2)	689 (0.2)
一般作業群	228,957 (57.0)	234,208 (58.6)	236,514 (59.3)	219,508 (58.1)	205,909 (56.6)
サービス群	34,692 (8.7)	31,140 (7.8)	29,021 (7.3)	26,882 (7.1)	26,065 (7.2)
計	401,458 (100.0)	399,734 (100.0)	398,790 (100.0)	377,712 (100.0)	363,689 (100.0)

職群別契約金額における一般作業群の割合には大きな変化はありませんが、技能群、サービス群では減少、管理群では増加の傾向があります。

〔課題〕

（１）就業先の確保

より多くの会員が就業できるよう、就業開拓に取り組み、就業機会の拡大を図るとともに、発注者ニーズの多様化に対応するため、多様な人材の確保が求められています。

また、高齢会員の増加に伴い、高齢会員向けの就業開拓や、従来の就業形態の見直し等の配慮が求められています。

（２）就業の適正化

会員の就業機会の拡大に向けて、ローテーション就業やワークシェアリング等の対応の外、会員の意識改革が求められています。

請負・委任契約に適さない業務に対応するため、シルバー派遣事業への着実な取り組みが求められています。

（３）安全就業の推進

事故件数がなかなか減少しない中、会員の安全就業に関する意識の向上と、事故の再発防止に向けた取り組みを徹底することが求められています。

（４）会員の技術・技能の向上

後継者の育成とともに、会員の知識及び技術・技能の向上を図るため、各種講習会の開催が求められています。

3 組 織

〔現 状〕

(1) 運営組織

① 総 会

公益社団法人の総社員(会員)で構成する最高意思決定機関であり、センターの運営に関する重要な事項を審議決定します。

通常は、定時総会として、毎年6月に1回開催しています。

総会は、構成員の過半数の出席(表決書等提出者を含む)により成立し、普通決議はその出席者の過半数、特別決議はその出席者の2/3以上の承認により決議されます。

② 理事会

公益社団法人における全ての理事で構成する、業務執行等に関する法人の意思決定機関です。

会議は、全理事の過半数の出席により成立し、その出席者の過半数の承認により決議されます。

理事は、総会において選任され、任期は概ね2年です。

理事長、副理事長、常務理事は、理事会の決議によって、理事の中から選定します。

③ 委員会

事業推進委員会、普及啓発委員会、安全・適正就業委員会の3委員会があります。これらの委員会は、実質的な事業遂行方針を決定する行動的組織として機能しており、重要な事項は理事会に提案することとなります。

この他に、必要に応じて、専門委員会正副委員長会議、広報編集部会、女性部会等が開催されます。

(2) 会員組織

① 地区班

会員の自主的活動の促進、組織運営への積極的な参加、会員相互の連携と親睦を図ると共に、センターと会員との連携を密にして、センター事業の円滑な推進を図るために、地区班組織を設けています。

地域は、概ね小学校を単位として市内を13地区に分け、それぞれの地区をさらにいくつかの班に分け、会員の中から地区長・班長を定めて、地区及び班の運営に当たっています。

② 職群班

専門的な仕事や、グループで分担して行う仕事など、多種多様な仕事の受注を円滑に処理するとともに、会員の就業体制の向上を図るために設置しています。

それぞれの職群班にはリーダー等が置かれ、活動の中心的役割を担っています。

(3) 事務局組織

業務担当、介護担当、経理・庶務担当に分かれ、事務を執行しています。

〔課題〕

（１）運営組織の充実

運営組織（理事会・委員会）は、センター事業推進の要であることから、その活動の強化及び活性化が求められています。

（２）会員組織の充実

地区班及び職群班は、会員によるセンターの自主的運営の実現を目指すための組織であることから、その活動の活性化が求められています。

（３）事務局組織の充実

事務局は、センターの事業運営や組織活動を円滑に推進する重要な役割を持つことから、簡素でいて機能的な組織となるよう、常に体制の見直しを行うと共に、職員の資質向上が求められています。

4 経営状況

〔現 状〕

(1) 補助金及び事業収益等

補助金及び事業収益等の年度推移

(単位：千円、%)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
補 助 金	32,475 (7.3)	32,123 (7.2)	34,273 (7.7)	36,474 (8.5)	40,678 (9.7)
うち、国 庫	14,240	13,888	16,038	18,236	20,238
うち、藤枝市	18,235	18,235	18,235	18,238	20,440
会 費	2,050 (0.5)	1,978 (0.5)	1,860 (0.4)	1,863 (0.4)	1,831 (0.4)
事 業 収 益	410,453 (92.2)	410,333 (92.3)	412,283 (91.9)	389,521 (91.1)	376,603 (89.9)
計	444,978 (100.0)	444,434 (100.0)	448,416 (100.0)	427,858 (100.0)	419,112 (100.0)

(注) 事業収益欄の金額は、補助金と会費以外の全ての事業収益の合計額

補助金は、減額され続けた国庫補助分が、藤枝市の補助額に追いついてきたことから、令和元年度は平成27年度の25%増となっています。

会費は、会員数の減少に伴い、令和元年度は平成27年度の10%減となっています。

その他の事業収益は、請負・委任事業からシルバー派遣事業への切り替えに伴い、令和元年度は平成27年度の8%減となっています。

(2) 支払配分金、運営費及び人件費

支払配分金、運営費及び人件費の年度推移

(単位:千円、%)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
支払配分金	352,524 (80.5)	349,704 (79.8)	349,611 (78.6)	330,604 (77.9)	320,700 (76.4)
支払材料費等	10,475 (2.4)	11,394 (2.6)	11,241 (2.5)	10,437 (2.5)	9,903 (2.4)
人 件 費	48,139 (11.0)	50,081 (11.4)	53,431 (12.0)	53,609 (12.6)	53,312 (12.7)
運 営 費	26,960 (6.1)	27,238 (6.2)	30,419 (6.9)	29,571 (7.0)	35,614 (8.5)
計	438,098 (100.0)	438,417 (100.0)	444,702 (100.0)	424,221 (100.0)	419,529 (100.0)

(注)運営費欄の金額は、支払配分金・支払材料費等・人件費以外の全ての経常費用の合計額。

支払配分金は、シルバー派遣事業への切り換えに伴って請負・委任事業が減少していることから、令和元年度は平成27年度から4.1ポイントのマイナスとなっています。

人件費は、適正就業推進及び就業開拓体制強化に伴い、令和元年度は平成27年度より1.7ポイントのプラスとなっています。

運営費は、施設老朽化に伴う修繕費の増加や、車両更新に伴う減価償却費の増加により、令和元年度は平成27年度より2.4ポイントのプラスとなっています。

(3) 財務状況

財務状況の年度推移

(単位:千円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経 常 収 益	444,978	444,434	448,416	427,858	419,112
経 常 費 用	438,098	438,417	444,702	424,221	419,528
当期経常増減額	6,880	6,017	3,714	3,637	△416
経常外収益	—	315	772	172	—
経常外費用	—	—	—	—	—
当期経常外増減額	—	315	772	172	—
当期一般正味財産増減額	6,880	6,332	4,486	3,809	△416
正味財産期末残高	76,165	82,497	86,983	90,792	90,376

経常収益は、シルバー派遣事業への切り換えに伴って請負・委任事業が減少していることから、令和元年度は平成27年度から5.8ポイントのマイナスとなっています。

経常費用も同様の理由から、令和元年度は平成27年度から4.2ポイントのマイナスとなっています。

当期経常増減額は、令和元年度は施設老朽化に伴う修繕費の増加や車両更新に伴う減価償却費の増加により赤字となりましたが、他の年度は順調に黒字を計上したことから、正味財産期末残高については、令和元年度は平成27年度に比べ、14,211千円、18.7%の増加となっています。

〔課題〕

（１）業務単価の検討

シルバー派遣事業の拡大に伴い、請負・委任事業の単価が適正であるかとの観点から、職種・仕事別の単価水準の総合的な検証が求められています。

（２）事務費の検討

平成23年度から、事務費率を受注額（配分金に相当する額）の7％に改定しています。この事務費率は、受注額に関わらず一律7％であり、少額を受注の場合には必要な経費が賄えていない状況にあることから、一定の受注額までは定額の事務費を設定するなど、適正な事務費を確保することが求められています。

（３）情報発信の強化

センターの活動内容を内外に広く理解してもらうため、様々な手法を活用した積極的な情報発信が求められています。

第3章 重点目標と方向性

1 会員数の拡大と育成

(1) 会員数の拡大

当センターの会員数は、平成21年度末の1,175人をピークに減少を続けていますが、全国的にも平成21年度に79万人に達したのち減少を続けており、全てのセンターにおいて、会員の拡大が最重点かつ喫緊の課題となっています。

これは、定年制の延長などで企業の雇用が増加しているほか、シルバー以外での高齢者の働く場・活躍する場が増えていることなどが挙げられます。

そこで、全シ協が打ち出した「第2次会員100万人達成計画」のもと、シルバー人材センターの周知を図り、一人でも多くの会員を確保するため、様々なPR手法や取り組みを通じて、会員数の拡大に努めていきます。

(参考:「第2次会員100万人達成計画」における当センターの目標値) (単位:人)

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
916	951	988	1,045	1,105	1,169	1,236

(2) 多様な人材の確保

会員が持つ資格や免許、これまでの職歴、希望職種、さらには講習等の受講履歴などのデータベースを活用し、多様化するニーズに対応できる体制づくりに努めていきます。

(3) 会員の意識の向上

センターがこれまでに築いてきた就業先からの信頼を、これからも引き続き確保していくため、基礎的なモラルやマナーについて、さまざまな機会を捉えて周知し、会員の意識の向上に努めていきます。

(4) 高齢会員への対応

高齢会員の就業については、受注内容や発注者の意向もあって、年々厳しくなってきています。そこで、高齢会員向けの相談会や就業機会の創出に努めていきます。また、生きがいの充実や社会参加を求める会員のニーズにも応えるべく、地域活動等への参加を推進し、支援をしていきます。

2 就業機会の拡大と開拓

(1) 就業先の確保

会員の就業率は、派遣を含めて80%台後半で推移していますが、求人と会員の希望する仕事が合わない等の事由から、就業機会が成立しない場合があるなど、就業先の確保は引き続き課題となっています。

就業開拓員による新規就業先の確保や既存就業先の維持・拡大を図っていますが、今後も就業開拓に積極的に取り組んでいきます。

また、イベント等参加時のチラシ配布等を行うなど、様々な機会を活用してセンター事業のPRに努めて市民に広く周知し、就業機会の拡大を図っていきます。

(2) 就業の適正化

より多くの会員が就業する機会を得られるよう、発注者及び会員の理解を得ながら、ローテーション就業やワークシェアリングに取り組んでいきます。

請負・委任契約に適さない業務については、発注者と協議を進め、シルバー派遣事業への転換を図っていきます。

(3) 安全就業の推進

会員の安全就業を確保することは、センター事業運営における重要事項ですが、就業中及び就業途上の事故はなかなか減少しません。

就業現場の巡回パトロールや事故分析を強化し、会員の安全就業に関する意識の向上と、事故の再発防止に向けた取り組みを徹底・強化し、繰り返し安全就業への注意喚起を行っていきます。

(4) 会員の技術・技能の向上

会員の知識及び技術・技能水準の向上と均一化に向けて各種講習会を開催するほか、会員の持つ優れた知識や技術・技能を継承するための組織づくりと、フォローアップのための研修に取り組んでいます。



3 組織の充実

(1) 運営組織の充実

運営組織はセンター事業推進の要であり、理事及び委員会の委員は、リーダーとしての役割と活動を担うことにより、基本理念である「自主・自立、共働・共助」の実現と、センターの更なる飛躍・発展を目指していきます。

また、事業運営の中で発生する様々な課題に対して、理事会・各委員会及び関係会員並びに事務局が一丸となって、課題解決に向けて取り組んでいきます。

(2) 会員組織の充実

地区班については、会員相互の交流や情報交換、ボランティア活動等への取り組みのほか、地域ニーズの掘り起こしなど、自主的運営の推進を図っていきます。

また、職群班については、あり方を再確認するとともに、会員間の仕事の調整や進行、会員の技能・技術の習熟と向上、安全就業の徹底等を図っていきます。

(3) 事務局組織の充実

発注者及び会員の信頼と期待に応えられるよう、事務の見直しや職員の適正配置と資質・能力向上を図っていきます。

4 経営体質の強化

(1) 業務単価の検討

シルバー派遣事業の拡大に伴い、最低賃金との関連も考慮して、請負・委任事業の単価水準が適正であるかどうか、職種・仕事別の単価水準を総合的に検証し、適正な単価の算定に取り組んでいきます。

(2) 事務費の検討

事務費率は、受注額に関わらず一律7%であり、少額の受注の場合には必要な経費が賄えない状況にある事から、一定の受注額までは定額の事務費を設定するなど、適正な事務費の確保を図っていきます。

(3) 情報発信の強化

会員数拡大や就業開拓において、センターの活動内容を広く理解してもらうためには、普及啓発活動は不可欠なものです。

ホームページの有効な活用やチラシ配布などを通じて、積極的に情報発信を行っていきます。

また、会員に向けても、従来の紙媒体やホームページでの情報発信に加え、新たにスマートフォン等を利用した会員向けのサービスの提供に取り組んでいきます。

参考資料

会員アンケート調査結果

令和2年2月19日実施

	アンケート調査対象者	アンケート調査回答者	回答率
男	567人	493人	86.95%
女	324人	258人	79.63%
性別不明	—	6人	—
計	891人	757人	84.96%

アンケート結果から読み取れること

- ・ 95%の会員が、入会後に健康状態を維持できている 【問1 エ】
- ・ 81%の会員が、希望した仕事に就業している。
66%の会員が、その仕事に満足している。 【問7 イ、ウ】
- ・ 受け取っている配分金額と、希望している配分金額に開きがある。
..... 【問7 キとコの比較】
- ・ 32%の会員が、働ける限りいつまでも就業したいと考えている。 【問10】
- ・ 33%の会員が、理事会、各委員会、事務局からの情報が伝わっていないと感じている。 【問15】
- ・ 35%の会員が、地区活動に参加したくないと考えている。 【問16】
- ・ 35%の会員が、「ペナルティー制度」導入に慎重な考えを持っている。 【問17】

問 1 あなた自身のことについて伺います。

ア. あなたの性別を伺います。

- ①男 性 (4 9 3) (65.1%)
- ②女 性 (2 5 8) (34.1%)
- ③無回答 (6) (0.8%)

イ. あなたの年齢（令和 2 年 3 月 1 日現在）を伺います。

- ① 6 0 ～ 6 4 歳 (1 4) (1.9%)
- ② 6 5 ～ 6 9 歳 (1 3 4) (17.7%)
- ③ 7 0 ～ 7 4 歳 (2 6 9) (35.5%)
- ④ 7 5 ～ 7 9 歳 (2 2 2) (29.3%)
- ⑤ 8 0 ～ 8 4 歳 (9 4) (12.4%)
- ⑥ 8 5 歳以上 (2 3) (3.1%)
- ⑦無回答 (1) (0.1%)

ウ. 入会前の主な職歴を伺います。（複数回答あり）

- ①事務職 (1 2 9) (16.2%)
- ②技術職 (1 5 7) (19.7%)
- ③技能・労務職 (2 2 1) (27.7%)
- ④営業・販売職 (1 0 8) (13.5%)
- ⑤農林漁業 (2 5) (3.1%)
- ⑥自営業 (7 7) (9.7%)
- ⑦その他 (6 1) (7.6%)
- ⑧無回答 (2 0) (2.5%)

エ. 入会後の健康状態を伺います。

- ①健康になった (1 2 4) (16.4%)
- ②体調が悪くなった (2 8) (3.7%)
- ③変わらない (5 9 3) (78.3%)
- ④無回答 (1 2) (1.6%)

問 2 シルバー人材センターを、何で知りましたか。（複数回答可）

- ①センター広報紙 (1 5 0) (17.0%)
- ②シルバーのチラシ (1 0 1) (11.4%)
- ③センターHP (1 6) (1.8%)
- ④公共機関 (2 0 4) (23.1%)
- ⑤会員からの紹介 (1 5 7) (17.7%)
- ⑥知人からの紹介 (1 8 7) (21.1%)
- ⑦その他 (5 7) (6.4%)
- ⑧無回答 (1 3) (1.5%)

問3 センターに入会した理由・目的は何ですか。(複数回答可)

- | | |
|----------|-------------------|
| ①生きがいづくり | (2 6 0) (17.5%) |
| ②仲間づくり | (1 3 9) (9.4%) |
| ③時間的余裕 | (2 8 3) (19.0%) |
| ④健康維持・増進 | (3 3 4) (22.5%) |
| ⑤社会貢献 | (1 4 0) (9.4%) |
| ⑥経済的理由 | (3 0 7) (20.7%) |
| ⑦その他 | (2 0) (1.3%) |
| ⑧無回答 | (3) (0.2%) |

問4 センターに入会して何年目ですか。

- | | |
|-----------|-------------------|
| ①1年未満 | (8 1) (10.7%) |
| ②2年未満 | (6 4) (8.4%) |
| ③3年未満 | (6 5) (8.6%) |
| ④4年未満 | (6 1) (8.1%) |
| ⑤5年未満 | (5 1) (6.7%) |
| ⑥5～10年未満 | (2 2 1) (29.2%) |
| ⑦10～15年未満 | (1 3 4) (17.7%) |
| ⑧15年以上 | (7 4) (9.8%) |
| ⑨無回答 | (6) (0.8%) |

問5 希望している仕事(内容・職種)は何ですか。(複数回答可)

- | | |
|----------|-------------------|
| ①屋内軽作業 | (2 6 1) (21.8%) |
| ②屋外軽作業 | (1 2 7) (10.6%) |
| ③施設管理 | (1 4 0) (11.7%) |
| ④清掃 | (1 1 9) (10.0%) |
| ⑤草刈り | (7 0) (5.9%) |
| ⑥草取り | (6 6) (5.5%) |
| ⑦植木剪定 | (5 7) (4.8%) |
| ⑧大工 | (1 0) (0.8%) |
| ⑨障子・襖張り | (6) (0.5%) |
| ⑩筆耕 | (1 2) (1.0%) |
| ⑪経理・事務 | (4 4) (3.7%) |
| ⑫福祉・家事援助 | (8 7) (7.3%) |
| ⑬子育て支援 | (4 3) (3.6%) |
| ⑭その他 | (5 3) (4.4%) |
| ⑮無回答 | (1 0 0) (8.4%) |

問6 あなたは令和1年度中に就業しましたか。

- ①継続的にした (5 0 4) (66.6%)
- ②時々した (1 1 9) (15.7%)
- ③一度もしなかった (1 0 9) (14.4%)
- ④無回答 (2 5) (3.3%)

※①又は②に○を付けた方は「問7」へ、③に○を付けた方は「問8」へ。

問7 「問6」で、①又は②に○を付けた方に伺います。

ア. あなたが就業した仕事(内容・職種)は何ですか。(複数回答可)

- ①屋内軽作業 (1 8 3) (22.0%)
- ②屋外軽作業 (1 0 6) (12.7%)
- ③施設管理 (8 0) (9.6%)
- ④清掃 (1 3 4) (16.1%)
- ⑤草刈り (4 8) (5.8%)
- ⑥草取り (6 0) (7.2%)
- ⑦植木剪定 (4 4) (5.3%)
- ⑧大工 (4) (0.5%)
- ⑨障子・襖張り (2) (0.2%)
- ⑩筆耕 (3) (0.4%)
- ⑪経理・事務 (7) (0.8%)
- ⑫福祉・家事援助 (6 0) (7.2%)
- ⑬子育て支援 (1 7) (2.0%)
- ⑭その他 (6 6) (7.9%)
- ⑮無回答 (1 9) (2.3%)

イ. あなたの希望した仕事でしたか。

- ①はい (5 0 6) (81.2%)
- ②いいえ (9 3) (14.9%)
- ③無回答 (2 4) (3.9%)

ウ. 就業した仕事に満足ですか。

- ①満足 (4 1 3) (66.3%)
- ②不満 (2 7) (4.3%)
- ③どちらとも言えない (1 8 0) (28.9%)
- ④無回答 (3) (0.5%)

エ. 上記で、「②不満」に○を付けた方の理由は何ですか。(複数回答可)

- | | |
|------------|-----------------|
| ①配分金が少ない | (1 1) (25.0%) |
| ②人間関係が難しい | (3) (6.8%) |
| ③希望した仕事でない | (7) (15.9%) |
| ④時間帯が合わない | (1) (2.3%) |
| ⑤就業場所が遠い | (5) (11.4%) |
| ⑥就業環境が悪い | (7) (15.9%) |
| ⑦その他 | (8) (18.2%) |
| ⑧無回答 | (2) (4.5%) |

オ. 就業日数は、月平均で何日くらいですか。

- | | |
|----------|-------------------|
| ①月5日以下 | (1 2 3) (19.8%) |
| ②月6～10日 | (1 8 4) (29.5%) |
| ③月11～15日 | (1 7 2) (27.6%) |
| ④月16～20日 | (1 1 3) (18.1%) |
| ⑤月21日以上 | (2 0) (3.2%) |
| ⑥無回答 | (1 1) (1.8%) |

カ. 1カ月当たりの就業時間は、平均すると何時間くらいですか。

- | | |
|----------|-------------------|
| ①10時間未満 | (7 9) (12.7%) |
| ②10～20時間 | (1 0 3) (16.6%) |
| ③21～40時間 | (1 4 4) (23.1%) |
| ④41～60時間 | (9 8) (15.7%) |
| ⑤61～80時間 | (1 2 1) (19.4%) |
| ⑥81時間以上 | (4 8) (7.7%) |
| ⑦無回答 | (3 0) (4.8%) |

キ. 月平均の配分金の額は、どのくらいですか。

- | | |
|-----------|-------------------|
| ①1万円未満 | (5 7) (9.1%) |
| ②1～2万円未満 | (7 3) (11.7%) |
| ③2～4万円未満 | (1 6 5) (26.5%) |
| ④4～6万円未満 | (1 4 4) (23.1%) |
| ⑤6～8万円未満 | (1 1 2) (18.0%) |
| ⑥8～10万円未満 | (3 4) (5.5%) |
| ⑦10万円以上 | (1 5) (2.4%) |
| ⑧無回答 | (2 3) (3.7%) |

ク. 配分金の主な使途は何ですか。(複数回答あり)

- | | |
|--------|---------------------|
| ①生活費 | (3 4 0) (50.3%) |
| ②教養娯楽費 | (2 3 7) (35.1%) |
| ③ローン返済 | (1 1) (1.6%) |
| ④その他 | (5 4) (8.0%) |
| ⑤無回答 | (3 4) (5.0%) |

ケ. 月に何日くらい就業したいですか。

- | | |
|----------|---------------------|
| ①月5日以下 | (6 0) (9.6%) |
| ②月6～10日 | (1 8 0) (28.9%) |
| ③月11～15日 | (1 9 3) (31.0%) |
| ④月16～20日 | (1 4 3) (22.9%) |
| ⑤月21日以上 | (2 1) (3.4%) |
| ⑥無回答 | (2 6) (4.2%) |

コ. 希望する配分金の月額は、どのくらいですか。

- | | |
|-----------|---------------------|
| ①1万円未満 | (1 4) (2.2%) |
| ②1～2万円未満 | (5 4) (8.7%) |
| ③2～4万円未満 | (1 1 7) (18.8%) |
| ④4～6万円未満 | (1 6 0) (25.7%) |
| ⑤6～8万円未満 | (1 3 5) (21.7%) |
| ⑥8～10万円未満 | (8 2) (13.1%) |
| ⑦10万円以上 | (3 0) (4.8%) |
| ⑧無回答 | (3 1) (5.0%) |

問8 「問6」で、③に○を付けた方に伺います。

あなたが就業しなかった主な理由は何ですか。(複数回答あり)

- | | |
|-------------|-------------------|
| ①希望する仕事がない | (1 7) (13.9%) |
| ②仕事の紹介がない | (1 9) (15.6%) |
| ③病気等健康上の理由 | (2 0) (16.4%) |
| ④介護等家庭の事情 | (5) (4.1%) |
| ⑤他で就業している | (2 5) (20.5%) |
| ⑥仕事の条件が合わない | (7) (5.8%) |
| ⑦就業を希望していない | (6) (4.9%) |
| ⑧その他 | (1 1) (9.0%) |
| ⑨無回答 | (1 2) (9.8%) |

問9 未就業会員を減らすためには、どの方法が良いと思いますか。(複数回答あり)

- ①ローテーション就業 (8 5) (9.5%)
- ②就業開拓強化 (1 7 2) (19.2%)
- ③就業相談実施 (2 5 1) (28.0%)
- ④各種講習会実施 (9 0) (10.0%)
- ⑤会員の意識改革 (1 0 6) (11.8%)
- ⑥その他 (1 9) (2.1%)
- ⑦無回答 (1 7 4) (19.4%)

問10 何歳まで、就業してたいですか。

- ①70歳まで (3 3) (4.4%)
- ②75歳まで (1 7 2) (22.7%)
- ③80歳まで (2 0 7) (27.3%)
- ④85歳まで (5 1) (6.7%)
- ⑤働ける限りいつまでも (2 4 5) (32.4%)
- ⑥無回答 (4 9) (6.5%)

問11 「第2次会員100万人達成計画」を知っていますか。

- ①知っている (1 2 1) (16.0%)
- ②知らない (5 8 9) (77.8%)
- ③無回答 (4 7) (6.2%)

問12 会員増加に向けた取り組み手法について、伺います。

ア. あなたが会員増加に効果的だと思うものは何ですか。(複数回答可)

- ①新聞折込などの広告宣伝 (3 8 9) (39.5%)
- ②普及啓発グッズの配布 (8 4) (8.5%)
- ③一人一会員活動の推進 (1 5 7) (16.0%)
- ④各種イベントへの参加、又はイベント開催 (2 1 2) (21.5%)
- ⑤その他 (5 2) (5.3%)
- ⑥無回答 (9 1) (9.2%)

イ. 「ア」で、①に○を付けた方に伺います。

特にどのような方法が効果的だと思いますか。(複数回答あり)

- ①新聞折込チラシ (2 1 4) (44.6%)
- ②シルバー広報紙の活用 (1 1 9) (24.8%)
- ③市内各所への広告掲示 (8 7) (18.1%)
- ④マスメディア(TV・ラジオ)の活用 (4 1) (8.5%)
- ⑤その他 (1 1) (2.3%)
- ⑥無回答 (8) (1.7%)

ウ.「ア」で、②に○を付けた方に伺います。

特にどのようなものが効果的だと思いますか。(複数回答あり)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ①ボールペンやティッシュなどの既製品 | (3 7) (40.2%) |
| ②センター(会員)が独自に製作した小物など | (1 7) (18.5%) |
| ③会員が生産した農産物など | (2 1) (22.8%) |
| ④その他 | (3) (3.3%) |
| ⑤無回答 | (1 4) (15.2%) |

エ.「ア」で、③に○を付けた方に伺います。

特にどのような方法が効果的だと思いますか。(複数回答あり)

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| ①紹介した人数によりポイントを付与し、それに応じた表彰を行う | (1 4) (8.9%) |
| ②紹介した人数によりポイントを付与し、それに応じた記念品等を贈る | (5 4) (34.2%) |
| ③人数・ポイントに拘わらず、表彰等を行う | (2 9) (18.3%) |
| ④その他 | (2 0) (12.7%) |
| ⑤無回答 | (4 1) (25.9%) |

オ.「ア」で、④に○を付けた方に伺います。

特にどのようなイベントが効果的だと思いますか。(複数回答あり)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ①市内各地区のふれあいまつり等への参加 | (1 0 1) (37.7%) |
| ②地域でのボランティア活動(清掃など)の開催 | (2 8) (10.4%) |
| ③地域のサロン等への出張講座の開催など | (3 8) (14.2%) |
| ④センター独自のシルバーまつりの開催など | (6 5) (24.2%) |
| ⑤その他 | (5) (1.9%) |
| ⑥無回答 | (3 1) (11.6%) |

問13 一人一会員活動に関連して伺います。

ア. あなたは、お知り合いにシルバーへの入会を勧めますか。

- | | |
|--------|-------------------|
| ①勧める | (2 9 5) (39.0%) |
| ②勧めない | (6 3) (8.3%) |
| ③わからない | (3 3 0) (43.6%) |
| ④無回答 | (6 9) (9.1%) |

イ.「ア」で、①に○を付けた方に伺います。

勧める理由は何ですか。(複数回答あり)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ①一緒に就業したいから | (2 8) (8.5%) |
| ②仲間(会員)を増やしたいから | (7 7) (23.4%) |
| ③自分が入会して良かったと思うから | (2 1 2) (64.4%) |
| ④その他 | (1 2) (3.7%) |

ウ. 「ア」で、②に○を付けた方に伺います。

勧めない理由は何ですか。(複数回答あり)

- | | |
|----------------------|----------------|
| ①仕事が少なくなるから | (4) (6.2%) |
| ②勧める魅力がないから | (10) (15.3%) |
| ③勧める自信がない(責任を取れない)から | (34) (52.3%) |
| ④その他 | (13) (20.0%) |
| ⑤無回答 | (4) (6.2%) |

問14 センターに入会してよかったと思うことは何ですか。(複数回答可)

- | | |
|-----------|-----------------|
| ①生きがいができた | (247) (17.2%) |
| ②仲間ができた | (303) (21.0%) |
| ③健康が維持できた | (315) (21.9%) |
| ④社会貢献ができた | (177) (12.3%) |
| ⑤収入が増えた | (264) (18.3%) |
| ⑥特にない | (65) (4.5%) |
| ⑦その他 | (24) (1.7%) |
| ⑧無回答 | (44) (3.1%) |

問15 理事会・各委員会・事務局からの情報伝達について伺います。

ア. 理事会からの情報は伝わっていますか。

- | | |
|-------------|-----------------|
| ①十分に伝わっている | (122) (16.1%) |
| ②まずまず伝わっている | (318) (42.0%) |
| ③あまり伝わっていない | (210) (27.8%) |
| ④全く伝わっていない | (35) (4.6%) |
| ⑤無回答 | (72) (9.5%) |

イ. 各委員会(事業推進、普及啓発、安全・適正就業)からの情報は伝わっていますか。

- | | |
|-------------|-----------------|
| ①十分に伝わっている | (95) (12.6%) |
| ②まずまず伝わっている | (325) (42.9%) |
| ③あまり伝わっていない | (218) (28.8%) |
| ④全く伝わっていない | (40) (5.3%) |
| ⑤無回答 | (79) (10.4%) |

ウ. 事務局からの情報は伝わっていますか。

- | | |
|-------------|-----------------|
| ①十分に伝わっている | (122) (16.1%) |
| ②まずまず伝わっている | (324) (42.8%) |
| ③あまり伝わっていない | (211) (27.9%) |
| ④全く伝わっていない | (32) (4.2%) |
| ⑤無回答 | (68) (9.0%) |

問16 地区会員同士の交流を図り、地区活動を活性化したいと考えています。
地区活動に対する考え方を伺います。

ア. あなたは、地区活動に参加したいですか。

- ①積極的に参加したい (5 5) (7.3%)
- ②付き合い程度に参加したい (3 6 2) (47.8%)
- ③あまり参加したくない (2 0 0) (26.4%)
- ④参加したくない (6 4) (8.5%)
- ⑤無回答 (7 6) (10.0%)

イ. 「ア」で、①又は②に○を付けた方に伺います。

どのような地区活動に参加したいですか。(複数回答あり)

- ①ボランティア活動 (1 7 2) (40.0%)
- ②地区懇談会、懇親会 (2 1 5) (50.0%)
- ③その他 (1 3) (3.0%)
- ④無回答 (3 0) (7.0%)

ウ. 「ア」で、③又は④に○を付けた方に伺います。

参加したくない理由は何ですか。(複数回答あり)

- ①他の用向きで忙しい (7 2) (26.3%)
- ②就業だけで十分 (1 7 4) (63.5%)
- ③その他 (1 8) (6.6%)
- ④無回答 (1 0) (3.6%)

問17 「ペナルティー制度」導入に対する考え方を伺います。(複数回答あり)

- ①導入を積極的に支持する (7 2) (9.1%)
- ②安全就業のためには、導入もやむを得ない (3 1 3) (39.6%)
- ③導入する前に、もっと安全講習や研修に取り組むべき (2 0 7) (26.1%)
- ④現状のままでよい (6 8) (8.6%)
- ⑤その他 (2 2) (2.8%)
- ⑥無回答 (1 0 9) (13.8%)

公益社団法人 藤枝市シルバー人材センター 中期計画策定委員会設置要綱

(設 置)

第1条 公益社団法人藤枝市シルバー人材センターにおける今後の事業運営の指針となる中期計画(以下「計画」という。)を策定することを目的に、公益社団法人藤枝市シルバー人材センター中期計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(組 織)

第2条 委員会は、次に掲げる者の中から委員を選び組織する。

- (1) 理事
 - (2) 事務局
 - (3) その他理事長が必要と認める者
- 2 委員は、理事長が委嘱する。

(任 期)

第3条 委員の任期は、計画の策定が完了するまでとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は会務を総理する。
- 3 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けた時は、その職務を代理する。

(会 議)

第5条 委員会の会議の議長は、委員長があたる。

- 2 会議の招集は、委員長が必要に応じてこれを招集する。
- 3 委員長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求めることができる。

(事務局)

第6条 委員会の事務は、藤枝市シルバー人材センター事務局があたる。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和元年9月20日から施行する。

第1次中期計画策定委員会 委員名簿

職 名	氏 名	役 職
委 員 長	岸 本 孝 夫	副理事長
副 委 員 長	小 柳 津 茂 弘	理事(事業推進委員会委員長)
委 員	原 田 昌 宏	理事(事業推進委員会副委員長)
委 員	大 島 靖 之	理事(普及啓発委員会委員長)
委 員	佐 久 間 清	理事(普及啓発委員会副委員長)
委 員	平 出 武 男	理事(安全・適正就業委員会委員長)
委 員	森 谷 亮 治	理事(安全・適正就業委員会副委員長)
委 員	大 畑 恵 子	理事(女性部部長)

事 務 局

氏 名	役 職
後 藤 裕 和	事務局長
村 越 祝 広	事務局次長
村 松 正 行	事業担当係長

第1次中期計画 令和3年度～令和7年度

発行／令和3年3月

公益社団法人藤枝市シルバー人材センター

〒426-0025 藤枝市藤枝5丁目3番20号

TEL (054)641-5565 FAX (054)641-8816

E-mail fsjc@train.ocn.ne.jp

URL <http://www.fujieda-sjc.com/>

